



発行 子ども学習支援グループ須賀の寺子屋

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今号では、日頃の各担当の活躍や取り組みを取り上げました。担当を越えて参考になるものと思います。連載「学習支援のヒント」も、情報を共有して活動の参考にしてください。(TN)

小学生寺子屋の様子



小澤幸枝さん(学習支援員)

4月から5・6年生の英語をオンラインで教えています。小学生寺子屋は月2回、5年生4名、6年生3名を、各回1人ずつ担当するので、ようやく2巡したところです。小学生の段階ではまだ英語を楽しく学んで欲しいと思い、40分の授業時間の中で必ず歌の時間を入れるようにしています。私は、話す・聞くをメインでしたいので「英語は難しい」と思わず「これは英語でなんて言うのかな?」と関心を持ってもらいたいと思っています。

大須賀左千子さん(学習支援員)

今年の8月25日から、小学校の英語ライティングを担当している大須賀です。小学生は、教科書に載っている単語や表現を使って、アルファベットや単語と単語間をきちんとあけて英文を書くことに慣れてもらう事を目標にしています。最近の学習では、英語で道案内の文章をつくってもらいました。皆さん真剣に学習しています。まだ、担当して4ヶ月ちょっとですが、コツコツ、そして楽しく学習ができたらいいなと思っております。



府川千優さん(小学5年)

私は、オンライン学習のリスニングで、日本語で言ったことを英語に言い換えることが苦手です。ライティング学習も「むずかしいな〜」と思っています。でもわからなかったら、先生がやさしく教えてくれるので「いい先生だな〜」と思います。私は英語が苦手ですが、わからないことをやっていくと、だんだんと得意になっていくんじゃないかと思うので、「英語を得意にしていこう!」とがんばりたいです。



中学生寺子屋の様子

門馬敦仁さん(学習支援員)

中学2年生2名の英語と数学を担当しています。



時に相談しながら勉強に真剣に取り組んでいます。休憩中の食事の様子からは若さと活力を感じます。生徒ともっと雑談して話題を増やし、楽しい学習時間にしたいと思います。学習内容は生徒が決めていますが、支援員が生徒の特性(強み弱み)と課題を理解し、生徒がそれらの認識を持って学習できるよう支援していきたいと思っています。支援員も予習復習が必要かなと感じる今日この頃です。

平井一雄さん(学習支援員)

中学1年生の数学を担当しています。活動を始めてまだ半年ですが、数名の生徒と一緒に学習して感じる事は、どの生徒も、とても素直で一生懸命さが伝わってくるのですが、ケアレスミスが散見されるのが少し残念です。数十年前の自分に立ち返ったつもりで、「こんな風に教えてもらいたいなあ」と考え、問題が解けた時の喜びを少しでも感じて貰えるように一緒に勉強していきたいと思っています。



小向麻里愛さん(中学1年)

須賀の寺子屋では、生徒たちが「勉強を嫌いなものではなく楽しいもの」だと捉え学習できているように思えます。なぜなら、支援員たちが一人ひとりに寄り添って勉強を教えてくれるため、自分からたくさん質問したりと、意欲的に学習に取り組んでいる人が多いからです。支援員さんたちは、私たちの「わからない…」を「わかる!」に変えてくれる頼もしい存在となっています。生徒たちは、このような須賀の寺子屋が大好きです。



高校生寺子屋の様子

守山洋介さん(学習支援員)

高校生寺子屋支援員の守山と申します。高校進学後も寺子屋での学習を希望する高校生のみならず、ともに月1度のペースで活動しています。取り組み方は生徒が自由に決める自主性を重んじるスタイルで、学習内容は英語や数学といった主要教科のみならず、電気回路の問題にトライする生徒がいたり、小論文を必死に練習する生徒がいたりなどバラエティに富んでいます。また、休憩時間は気のおけない仲間たちとのひとときを生徒みんな楽しんでるような、活気にあふれたクラスです。高校生にとっての3年間は、将来進む道を選択する重要な時期ですが、社会の複雑化に伴い高校卒業後の進路も多種多様化していて、自身の考える力がより求められる時代だと思います。私としては、生徒の自ら考える力が育まれるようなアドバイスやサポートができればよいと考えながら、寺子屋活動に参加しています。



小川璃玖也さん(高校3年)

私は、高校生の寺子屋で勉強しています。それだけでなく中学生、小学生の寺子屋にもボランティアとして参加しています。その中で自分の勉強をするだけではなく、小学生、中学生に教えることで自分の中の理解を深めることができていると思います。なので、教えることが楽しいです。これからも須賀の寺子屋になんらかの形で関わりたいと思っています。

学習支援のヒント VL.3

小学生担当 天羽輝彦さんからのヒント

小学4年の算数を教えた経験からのヒントです。単純な四則計算は結構できるが、虫食い算になるとイヤがり、さらに文章題や時計の問題も避けたがる。これでは頭の中で「答え」までの課程をきちんと組み立て、記述する解答力が育たない、即ち、小学校の算数がきちんと理解できないと、中学校の数学についていけなくなると思う。これを少しでも改善するため、寺子屋としては教科書中心のおさらいと「答え」までの過程をノートにきちんと書き、かつ小学生なりの言葉で表現する解答力が必要と思う。(以前、数学ができる生徒のノートを見たら、「答え」までの課程が整然と記述されていた。)最後に、学習の合間に5分程度の息抜きの時間(例えば、「ちが探し」など)を設けることも必要と考えます。

中学生担当 雨宮恭基さんからのヒント

中学の英語を担当している雨宮です。皆さんのヒントとなりそうなことを記載してみました。

月2回の寺子屋だけでは英語の習得は不可能なので、私は寺子屋で、(1)自宅での勉強の仕方(単語を少しずつ自分で計画し覚えていく等)を教え、(2)その進捗状況の確認、教科書の復習による文法等の確認を行っています。単語も読み方の法則(読めるだけで単語力は間違いなく1割以上アップします)や類似語も一緒に教えるようにしています。文法については、例えばスマホゲームのルールと一緒にだと極力子供のハードルを低くすることを意識して教えています。ご参考ですが、小学生の英語の授業は中学2年生レベルの内容です。(文法は教えていないようですが)

クラシックコンサートの報告

本年も11月23日勤労感謝の日に須賀公民館で開催。100万人のクラシックライブ様のご協力で、素晴らしいピアニストとバイオリニストにおいでいただき、佐藤由美子様の司会で楽しいコンサートになりました。

日頃よりご支援いただいている更生保護女性会や地区社会福祉協議会の皆様、太洋中平出校長様、港小奥石教頭様、支援員、小学生や幼いお子様連れの親子様等々80名のご参加をいただき、昨年を上回る盛況振りでした。

最後に、演奏家のお二人へ、生徒代表の宮川莉杏さん(小5)と小山内夏海さん(小4)から花束が、府川千優さん(小5)がお礼の挨拶を上手にしてくれました。



一般参加の保護者様より

とっても素敵な演奏を無料で聴けるなんて、本当に有難いなと思いました。子ども達が飽きないような構成になっていて、その中でも普段は聴けないような曲が入っていて、音楽に触れ合う良い時間だったと思います。

また、寺子屋さん達の温かい雰囲気がこの複雑な時代を生きる子ども達の支えになるだろうと感じました。手作りのお弁当も有り難かったです!

ありがとうございました。

須賀の寺子屋の活動の情報はホームページやfacebookでも紹介しています。

<https://sites.google.com/view/sukanoteragoya>

本誌の掲載内容や写真データを無断で転写したり、SNS等へ投稿したりすることは固く禁じます。